
一騎打ち

津軽 あまに

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

一騎打ち

【Nコード】

N9854N

【作者名】

津軽 あまに

【あらすじ】

青年と老兵。全力を尽くす一騎打ちの一幕。
アクション短編ですが、暴力描写はありません。

両の足は膝を緩く曲げ、その幅は肩よりも僅かに広い。
踵は僅かに浮き、爪先は爆ぜるのを待っている。

左の腕は腰の脇に添え、右の掌は胸の前。

小ぶりの武器は五の指で強く握り締められ、肉体の延長となっている。

獲物は同じ。利き手も、構えも同じ。鏡合わせの二つの姿。

だからこそ、向かい合う両者の差は歴然だ。

老と若。軟と剛。軽と重。

生物としての性能を比較するならば、老人の側に優位などない。

若者の腕が閃く。

繰り出される一撃は、秒速20メートルを優に超える。

対応できるはずがない。

老人には足りない。

筋力が。速度が。反応が。認識が。知覚が。

防御に必要なものが何一つとして足りていない。

老いとは衰えであり、若きものにその座を渡す。

それはあまりにも当然の理屈。
だが。

この4・1785平方メートルの領域において、その理屈は、反
転しうる。

緩慢な動きだった。

少なくとも、そう見えた。

あまりに自然で、力んだ様子もなく。ただ、腕が振るわれた。
だから。老人以外の誰一人として、理解できなかった。

若者の攻撃が防がれ、交差した一撃が逆に相手を打ち抜いたことを。

老人は喜びを顕わにしない。それが観客に気づかせる。今のは偶然ではない。この老人にとって、当然の出来事なのだ。若者の構えが変わる。

老人の動きを見極めんと、攻め手から、守り手へ。

相手の呼吸が整ったのを見極め、老人は手にした武器を一閃する。

斬。

どんな手品か、切断の瞬間を知覚させない一撃。

そこに何が仕込まれているのか、どんな技巧が含まれるのか。手の内から予測は不能。

ならば、その軌道から一瞬先の未来を予測し、対応するのみ。

攻撃は奇妙な軌道を描き、守り手の意識の裏を擦り抜けんとする。しかして若者も、身体能力のみでこの場に立った者ではない。

知覚。分析。思考。理解。反応。

五節のうち中途三節を修練による反射にて代用。

知覚から反応へと直結した動きが、最適の解法を導き出す。

相殺。反転。回転軸を殺し、己の力へと転化して反撃。

この間、都合0.3秒。

しかしてその後、0.2秒の先には、悠とその逆襲を看破した老人。

けれどもそれも若者の予測の範囲。

打、捻、転、斬、跳、駆。

10を数える間に応酬した数は23を越え、仕損じたのは老人の手。

両者の口元が歪む。

老人は相手の体力と思考の柔軟さを讃えた。

若者は相手の技巧と駆け引きの妙を認めた。

ここに両者は改めて、対等の敵として互いを認識し、武器を構えた。

直径40ミリ、重さ2・7グラム。

ちっぽけなピンポン球で、己の矜持を貫くために。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9854n/>

一騎打ち

2010年10月12日03時47分発行